

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.4 2016年7月19日(火)

学費の公私間格差・自治体間格差の是正を求めて全国25都道府県209名が永田町へ結集

3年前に導入された新制度にしたがって今年は高等学校全学年で就学支援金が支給されます。新制度を足がかりに年収500万円未満世帯まで学費無償を実現させた埼玉県がある一方で、国の増額を理由に県独自財源を削減あるいは県単独制度を廃止した県もあるなど、自治体間格差も拡大しました。文科省の予告する「来年度の『見直し議論』」に向けて、そうした格差是正と就学支援金・私学経常費助成の拡充を求めて、2016年7月15日、衆議院第一議員会館大会議室を会場に「7・15 学費の公私間格差・自治体間格差是正を考える院内集会」が開催されました。全国25都道府県から高校生8、父母127名、教職員75名計210名が会場を埋めつくしました。また、参議院選挙直後という中でしたが、ご本人16名代理62名の5会派+無所属78名の国会議員関係者が参加されました。

**5会派+無所属
本人16名・代理62名
計78名の国会議員関係者を迎えて
院内集会盛大に開催**

国会議員関係者 参加一覧

本人出席議員のみなさん				代理出席議員のみなさん			
お名前	選出	院会	No	お名前	選出	院会	No
真島省三議員	比例九州	衆共	1	神谷昇議員	比例近畿	衆自	17
山本博司議員	比例	参公	2	平野達男議員	岩手	衆無	18
根本幸典議員	愛知	衆自	3	大沼みずほ議員	山形	参自	19
鈴木克昌議員	愛知	衆民	4	田中良生議員	埼玉	衆自	20
赤松広隆議員	愛知	衆民	5	大見正議員	愛知	衆自	21
梅村さえこ議員	比例北関東	衆共	6	黒岩宇洋議員	新潟	衆民	22
武藤容治議員	岐阜	衆自	7	鈴木淳司議員	愛知	衆自	23
もとむら伸子議員	比例東海	衆共	8	高島修一議員	新潟	衆自	24
磯崎仁彦議員	香川	参自	9	山口泰明議員	埼玉	衆自	25
山田賢司議員	兵庫	衆自	10	細田健一議員	新潟	衆自	26
斎藤和子議員	比例南関東	衆共	11	今枝宗一郎議員	愛知	衆自	27
西村明宏議員	宮城	衆自	12	小川淳也議員	比例四国	衆民	28
○ 田村智子議員	比例	参共	13	行田邦子議員	埼玉	参無	29
☆ 大平喜信議員	比例中国	衆共	14	武正公一議員	埼玉	衆民	30
古川元久議員	愛知	衆民	15	堀内照文議員	比例近畿	衆共	31
井上哲士議員	比例	参共	16	鈴木馨祐議員	神奈川	衆自	32
							33
				伴野豊議員	愛知	衆民	34
				近藤昭一議員	愛知	衆民	35
				山田修路議員	石川	参自	36
				高木義明議員	長崎	衆民	37
				升田世喜男議員	青森	衆民	38
				田嶋要議員	千葉	衆民	39
				木村義雄議員	比例	参自	40
				志位和夫議員	比例南関東	衆共	41
				池田佳隆議員	比例東海	衆自	42
				玉木雄一郎議員	香川	衆民	43
				畑野君枝議員	比例南関東	衆共	44
				重徳和彦議員	愛知	衆民	45
				田村貴昭議員	比例九州	衆共	46
				吉川元議員	大分	衆社	47
				加藤鮎子議員	山形	衆自	48
				青山周平議員	愛知	衆自	49
				金子恭之議員	熊本	衆自	50
				遠藤利明議員	山形	衆自	51
				階猛議員	岩手	衆民	52
				佐々木隆博議員	北海道	衆民	53
				松本剛明議員	兵庫	衆無	54
				古川俊治議員	埼玉	参自	55
				大塚耕平議員	愛知	参民	56
				山尾志桜里議員	愛知	衆民	57
				古賀友一郎議員	長崎	参自	58
				畠山和也議員	北海道	衆共	59
				原田憲治議員	大阪	衆自	60
				三宅伸吾議員	香川	参自	61
				佐々木紀議員	石川	衆自	62
				篠原豪議員	神奈川	衆民	
				小此木八郎議員	神奈川	衆自	
				太田和美議員	千葉	衆民	☆
				中根康浩議員	比例東海	衆民	
				平井卓也議員	香川	衆自	
				郡和子議員	比例東北	衆民	☆
				瀬戸隆一議員	香川	衆自	
				小池晃議員	比例	参共	
				近藤洋介議員	山形	衆民	
				神田憲次議員	愛知	衆自	
				安井美沙子議員	愛知	参民	
				牧山ひろえ議員	神奈川	参民	
				大西健介議員	愛知	衆民	
				上野通子議員	栃木	参自	○
				工藤彰三議員	愛知	衆自	☆
				岡本充功議員	比例東海	衆民	
				田中和徳議員	神奈川	衆自	

どこに住んでもどこで学んでも同じ補助を!! ~ 代表あいさつ ~

開会にあたり全国私学助成をすすめる会共同代表櫻井敏弘さんは「生まれたところによって私学に通える生徒と通えない制度があるのはおかしい事です。議員のみなさん、こうした格差がなくなるようお願いいたします(大意)」とあいさつしました。同じく共同代表の永島民男さんは、私学で「学費無償」を訴えられるようになった現在の到達点は、40年以上に亘る運動の成果であることに触れた上で「大阪、埼玉のように年収590万円未満、500万円未満世帯で学費無償が実現した一方で国の就学支援金のみ、生活保護・非課税世帯までしか県単独予算がない県もあるという自治体間格差を是正するには、国の就学支援金制度の拡充しかありません。みなさんで訴えていきましょう」と資料を引きながら述べました。



櫻井共同代表



永島共同代表

国会議員も集中しメモをとった高校生のあいさつ

国会議員に生徒の生の声を聴いてもらおうと、主催者あいさつに次いで高校生に学費をめぐる実態について発言してもらいました。今回は東京：大東学園の高校生です。「都立高校の受験に失敗し、私学へ通うことになった。学費が大変で両親が言い合いをするようになり、それを見るのが辛かった。家で学校の話をした時『おちこぼれでも楽しんでいるのね』と言われたことがとても悲しかった。自分が私学に通っているから、弟は都立しかいけないというプレッシャーを感じている。私学に通うことでこうした思いを抱えないで済むように私学助成運動を頑張っていきたい(大意)。」学費に関する切実な訴えに会場は水を打ったように静まりかえりました。着席していた10名を超える国会議員も真剣に耳を傾け、中にはメモをとっている議員もいました。



大東学園高校のみなさん

	本	代	計
自民	5	29	34
民進	3	23	26
公明	1	0	1
共産	7	6	13
おおさか	0	0	0
生活	0	0	0
社民	0	1	1
無	0	3	3
計	16	62	78
会派数	5		
	本	代	計
衆	11	50	61
参	5	12	17
	16	62	78